

春の足音 ～成長の階段～

校長 吉松 崇



寒さの厳しい日が過ぎ、最近では20度前後の暖かく過ごしやすい日が続いています。花粉症の私には、少し辛い日々がやってきました。あっという間に2月が過ぎ、3月。1年生が植えているチューリップの芽が土から“ぽっ”と顔をのぞかせ、春の足音を感じさせてくれます。「芽が出てる!」と喜んだりしながら、毎日がんばって水やりをする1年生の姿を微笑ましく感じています。

まもなく春がやってきます。卒業の季節、1年間のまとめの季節がやってきました。道小の子たち一人ひとりには、素敵な「もちあじ」があり、学校でいろんなことを考え経験し生活しています。一人ひとりが、その子にぴったりのスピードで、この一年間「成長の階段」を登り続けました。毎日いっしょに生活していると、大人は子どもの「成長の階段」に気づきにくいものです。今のお子さんの姿を、ちょうど1年前の4月ごろと比べてみてください。できるようになったこと、たくましくなったこと、気づきが多くなったこと、やさしさが増えたこと…きっと「成長の階段」が見つかるはずです。6年生はもうすぐ卒業…6年間の成長の階段。足の大きさなど、体の成長だけでもすごいはず、心や体、身につけた知識や技術等々、数えきれないほどの成長があったと思います。

子どもたちは、この1年間、仲間と協力し、考え、学び、チャレンジし、成長することができました。その成長には、地域や保護者のみなさんの支えがあったからこそです。また、子どもたちの「元気な声と明るい笑顔」に支えられることもたくさんありました。

「人は支え合い、成長し生きています」

成長を感じつつ、身の周りへの感謝を忘れず、子どもも大人も生活していきましょう。